

第4回議会力向上会議記録（抄）

（23.11.16）

一、協議事項について

正副座長より、本日の協議事項に関し、別紙の参考資料を配布し、次の項目に関し意見聴取を行い、協議の結果、下記のとおりとなった。

1. 本会議・委員会等における携帯端末機器等の使用について

【各会派等の意見】（別紙 携帯端末機器等の持込みによる使用について（案）参照）

大阪維新の会 堺市議会議員団	正副座長案のとおりで了解した。操作音について留意すべきである。
公明党 堺市議会議員団	正副座長案のとおりで了解した。
ソレイユ堺	正副座長案のとおりで了解した。
日本共産党 堺市議会議員団	正副座長案のとおり試行することによい。
自由民主党・ 市民クラブ	正副座長案のとおりで了解した。
田中丈悦議員	正副座長案のとおりで了解した。問題あれば、その都度提起したい。

【協議結果】

携帯端末機器等の持込みによる使用については、別紙正副座長案のとおり、11月定例会から試行することとし、11月18日開催予定の議会運営委員会において申し合わせることにした。

また、次回、議会力向上会議において、試行の結果を検証することとした。

なお、座長より、試行に際し、会議規則第104条の規定に反することのないよう、議員の資質に鑑み、市民に説明できるように、各会派等が責任をもって運用されたい旨の注意喚起があった。

2. 議会基本条例について

(1) 条例の前文及び目的について

【各会派等の意見】（別紙 議会基本条例（前文及び目的の規定）（各会派等案）参照）

大阪維新の会 堺市議会議員団	大阪維新の会では、以前より、議会基本条例案を準備しており、その各条文の中に前文で規定すべき事項を盛り込んでいるため、前文は規定していない。会派の考えとして、別紙案を配布させていただいた。前文が必要ということであれば、検討するも構わない。
公明党 堺市議会議員団	地方自治体の長が議会に比べより多くの権限を有するのが現状であり、議会の権限は長に比べ弱く、議会の新たな役割の創造の必要性を強調したい。議会は、実態として、人事権、調査権、人員も少なく立法機能も十分でない。いわゆる3ナイ議会。権限が長に集中しており、議会の権能を高める必要がある。本市の議会基本条例は、後発でもあり、従前の他市条例と違う、堺として特徴あるものが良い。また、次回の会議では、条例の全体構成の案も併せて検討すべき。

ソレイユ堺	地方自治制度は直接選挙で選ばれた議員からなる議会と市長とによる二元代表制を採用しており、相互に独立対等な立場で、市政運営をしていく仕組みであることを強調したい。様々な案があり、正副座長でたたき台としての案を作成して検討してはどうか。ですます調については、上から目線的などということは当たらない。市民に親しみやすく、わかりやすくなるということなら賛成する。
日本共産党堺市議会議員団	議会基本条例の策定そのものは良い。いろいろな意見を取り入れて検討すべき。
自由民主党・市民クラブ	下線部が重要と考えている。書きぶりについては、意思を表すものであるので、ですます調は必要ない。
田中丈悦議員	長谷川議員の案は、本市の歴史を引用し、特徴的なものとしている。田中(丈)案は、協働型議会をめざし、市民の多様な意見を聴取し、市の意思や政策に適切に反映させていく議会の機能をさらに高める点が重要と考えている。また、である調の条文を、ですます調とし、上から目線的な文章は変えた方が良く提案する。

【協議結果】

次回までに、正副座長において、①条例の前文及び目的案及び②堺市議会基本条例の全体構成案を作成の上、事前に提示し、これをもとに議論していくこととなった。

(2) 堺市議会基本条例策定のための作業部会について

【協議結果】

議会基本条例の各条文について、議論を深めるため、議会基本条例策定のための作業部会を設置し、協議を行っていくことに決した。

なお、作業部会の構成は、正副座長には、議会力向上会議と同様に議会運営委員会正副委員長が就任することとし、各会派等からは、原則として、議会力向上会議の構成議員から各1名を選出することとし、11月18日までに議会事務局へ報告することとした。また、作業部会は非公開とし、作業部会の開催頻度は同部会に一任することと決した。

3. 議員報酬及び議員定数について

【各会派等の意見】

大阪維新の会堺市議会議員団	社会情勢から議会も身を削るべきところは削り、一方で、充実すべきところは、ビルドしつつ取り組むべきである。議会の全体力をアップしたい。これに有効なのは議員定数の削減である。
公明党堺市議会議員団	大阪維新の会と同じである。議会はスクラップ&ビルドを考えなければならない。議員定数は削減方向で検討し、議会の権能を議会基本条例で強化していくべき。
ソレイユ堺	大阪維新の会及び公明党に基本的に同じ。
日本共産党堺市議会議員団	議員定数削減には反対する。議会は、旧美原町との合併後、美原区議員は18名から3名に減り、旧堺市議会は、52名+3名で55名となるところ、3名減員し、52名としている。議員定数は、少ない方が良いわけではない。財政上の理由のみで減員してはいけない。市民の多様な意見を行政へ生かすべきである。議員報酬については、市民の所得が下がっており無視できない。検討すべきは議員報酬削減である。

自由民主党・市民クラブ	前期の議会で決められなかったものである。今期13名の新任議員もおり、白紙の状態から時間をかけて議論をすべきである。
田中丈悦議員	この検討項目を昨日聞き、長谷川議員の意向は聴取できていない。田中(丈)は、前期の議会から議論してきたが、民間や公務員の所得状況も参考にし、多様な意見を反映させて、定数削減でなく報酬削減の方が良いと考えている。

【協議結果】

議会の権能を高め、スクラップ&ビルドを進めていくことが重要であり、しっかりとした議論を行っていく。

今後については、次回以降の議会力向上会議においても、テーマとしていくこととした。

一、その他

吉川敏文議員より、議場への無線LAN環境の整備についてを検討して欲しいとの意見があった。

一、第5回議会力向上会議の開催日時について

本件については、12月20日(火)午前10時から会議を開催することとした。